

国民健康保険都道府県単位化に係る意見書採択についての陳情

[陳情の趣旨]

2018年4月からの国民健康保険都道府県単位化に向けて、厚生労働省は昨年10月に事業費納付金及び標準保険料率の簡易計算システムを都道府県におろし11月末と1月末の2回の試算を報告するとしていました。しかし、未だ試算内容が明らかにされず、各市町村は来年の保険料がどうなるかさえ議論できない状況となっています。

保険料がどうなるか、被保険者にとって暮らしを左右する大変重大な問題です。

各市区町村には、低所得者の保険料を軽減するなど地域の実情に応じて制度を定めてきた歴史があるにも関わらず、未だ具体的な数字が出されず何の説明もないまま国民健康保険事業方針だけが決定されようとしていることに対し、台東区議会が都、国に対し以下の内容で意見書を採択するよう求めるものです。

[陳情内容]

- ①事業費給付金・標準保険料試算を一刻も早く公表すること。
- ②2018年度以降も、保険料を現在以上に上げないこと。払える保険料にすること。
- ③一般会計法定外繰入、保険料決定など、市区町村における独自の権限を侵害しないこと。
- ④準備が整わないままの拙速な実施をせず、延期することを検討すること。
- ⑤国に対し、国民健康保険の安定的な運営のため、十分な財政措置を求めること。

以上

平成29年5月24日

台東区議会議長

河野純之佐 殿